

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 5年 3月 20日

事業所名 キッズステーションあおぞら関

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0.0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0.0%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0.0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0.0%	座っての活動の場と体を動かす活動の場を分けている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0.0%	ミーティングの時間を設け、全員で振り返りを行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0.0%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		H31. 3. 25よりホームページに自己評価表を公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0.0%	100.0%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0.0%	定期的に保護者様と面談しアセスメントを行っています。アセスメントは面談及び当協会独自のアセスメントシートを使用しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100.0%	0.0%	半年に一度、保護者様にアセスメント表の記入をお願いしています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0.0%	児童発達支援ガイドラインに沿って支援を行っています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0.0%	児童発達支援計画に沿った支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0.0%	社員が中心となり活動プログラムを作成しています。勿論全職員での意見交換も行っていきます。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0.0%	児童の成長に合わせて活動内容を工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0.0%	アセスメントを元に目標と施設利用上の留意点を設定し児童発達支援計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0.0%	ミーティングを通じて日々の反省、児童の成長などを共有して一日のプログラムを考えている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0.0%	基本的にその日のうち、難しい場合は翌日の朝に振り返り共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0.0%	その日の療育の様子を療育記録に毎日記録しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0.0%	最低6ヶ月に1度モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0.0%		会議が行われていないが、開催された際には児童発達支援責任者と児童の担当者が参画出来るようにする。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0.0%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0.0%		現在はありませんが、今後医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、主治医との連携を図るようにします。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0.0%		現在はありませんが、今後医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、主治医との連携を図るようにします。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100.0%	0.0%		現在は保護者様からの情報のみで移行支援の情報共有は行えていません。今後は出来る限り連携を図り、情報共有と相互理解に努めます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0.0%	100.0%		現在は保護者様からの情報のみで移行支援の情報共有は行えていません。今後は出来る限り連携を図り、情報共有と相互理解に努めます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0.0%	100.0%	支援センターの研修や実習には積極的に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0.0%	100.0%		今のところ交流はありませんが、今後保護者様が希望される場合は、機会を設けて行きます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100.0%		参加できていません。今後は機会があれば参加します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0.0%	送迎時及び連絡ノートを活用し随時児童の状況や課題について話し合い療育を行っています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0.0%	100.0%		子どもの成長や課題については共有し、今後の対応については話し合い一緒に方法を見つけ取り組むという形を取っている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0.0%	契約時に運営規程、重要事項説明書及び利用申込書にてご説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0.0%	契約時及びモニタリング時にアセスメントを行い支援会議を経て児童発達支援計画を作成しています。作成後は保護者様に説明し記名、捺印を頂いています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0.0%	6ヶ月に1回モニタリングを行なっています。また個別に日程を設定し相談に応じています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0.0%		コロナ禍で開催は見送っているが、必要に応じて少ない人数で意見交換などをする機会を作る予定がある。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0.0%		苦情・要望については契約時重要事項説明書にて説明を行っております。モニタリング時にもヒアリングを行っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%		行事内容や活動内容については連絡ノートを通じ保護者に発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0.0%	個人情報管理規定を策定しスタッフに周知しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0.0%	連絡ノートやSNSを活用し情報伝達を行っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0.0%	100.0%		現在のところ、そういった要望はありませんが今後検討して参ります。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0.0%	各マニュアルを整備し、定期的に研修を行っています。年2回避難訓練を行っています。	保護者への周知が不足している。全員が参加するのは難しいが、周知はしっかり出来るようにする。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0.0%	年2回避難訓練を定期的に行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0.0%	定期的にアセスメント表をご記入頂き状況を確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100.0%	0.0%		現在は保護者様からの情報提供で対応しています。必要であれば医師の指示に基づき対応して行きます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	毎日のミーティングでヒヤリハット事例が発生した場合は、報告書を作成し職員間で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%	虐待防止に関する内部研修を実施しています。また年2回虐待防止チェックリストを全スタッフがを行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0.0%	現在身体拘束を必要とする児童は通所していません。また身体拘束は行わない事を前提としています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。